

高齢者住宅研究会

終の棲家ってあるの？

～最期まで安心して暮らせる住まいを求めて～

目的：消費者への情報提供と事業者への提言



研究会のこの3年



1年目 発足

参加者は色々。中でも「親の時に親も自分も辛かった、自分が入るのに良い『老人ホーム』を探したい」という、まさに一般消費者が多いです。何もわからない中で、その「素人消費者目線」を強みに、研究会活動が始まりました。

身近で見学件数も多かった「介護付き有料老人ホーム」をテーマに行政・事業者・消費者への提言を盛り込んだ論文を作成。

特に高齢者住宅選択のポイントは

- ①自分情報の整理
- ②高齢者住宅の情報収集
- ③重要事項説明書での各高齢者住宅の比較検討

各方面に繋がりをお持ちのNACSの皆様、下記ポイントを改善するためのアドバイスをお願いします。

①事業者の契約書等が入居検討者(高齢者またはその家族)には難解。

②行政等の情報窓口が一本化されておらず消費者が情報難民状態。

24年度 予定 活動 テーマ

- ・法令の学習
- ・サービス付き高齢者向け住宅について
- ・東京都他の先進的な取り組みについて
- ・引き続き見学

新規会員募集中

高齢者の「住まい」について一緒に考えてみませんか？

連絡先：代表 古江まで
furuei@nifty.com

3年目 論文執筆

見学する程深まる謎。その過程での究極のFAQはこちら。

Q：色々な「高齢者住宅」があり、迷います。

A：制度の学習が必要です。複雑で特に高齢者が理解するのは大変です。

Q：高齢者住宅って結局何ですか？

A：つまるところ

- ①土地・建物・設備
- ②サービスの提供(カバー範囲は色々)
- ③居住の権利

の3要素とそれらに関する契約から成り立っています。情報収集をして、制度面と3要素からの読み解きが大切です。高齢者には難儀です。

Q：安心できる終の棲家はありますか？

A：ごめんなさい、わかりません。正直なところ手頃な価格で立地が良く広くて綺麗でサービスも充実した住まいを見つけるのは難しいと感じます。意外と選択肢は少ないです。

2年目 まずは 見学